

北九州市立大学 データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシー） 自己点検・評価の結果（令和4年度）

本教育プログラムの自己点検・評価にあたり、内部質保証推進室・基盤教育センター・FD委員会および授業担当教員が連携して、履修・修得状況の把握、アンケート実施、学修成果の確認および理解度・満足度の把握を行った。これらの結果をもとに、自己点検・評価を実施し、教育プログラムの改善に取り組んだ。

以下に自己点検・評価の結果を示す。

【学内からの視点】

① プログラムの履修・修得状況

プログラムの履修・修得状況は、本教育プログラムを構成する科目である「データサイエンス入門」の履修・修得状況を把握することにより確認した。受講者ごとの課題・演習等の進捗状況は、LMSを活用することにより把握した。

令和4年度は、全学部・学群で履修者359名、プログラム修了者287名であった。

② 学修成果

本教育プログラムを構成する科目である「データサイエンス入門」の受講者に対して「授業評価アンケート」を実施することにより、学修成果に関する結果を確認し、本教育プログラムの自己点検および評価・改善に活用した。

また、課題・演習等の成果物およびディプロマ・ポリシーの達成状況を把握することにより、学修成果を確認した。

課題・演習等の成果物およびディプロマ・ポリシーの到達度により成績評価を行った結果、令和4年度のプログラム修了率は80%であることを確認した（287/359名）。

③ 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度

本教育プログラムを構成する科目である「データサイエンス入門」の受講者に対して「授業評価アンケート」を実施することにより、学生の理解度を把握し、自己点検および評価・改善に繋げた。

また、アンケート結果を授業担当教員にフィードバックし、教員自らによる自己点検および評価・改善に活用した。

令和4年度のアンケート結果は、理解度4.50/5点、満足度4.55/5点となり、高評価であることを確認した（別紙参照）。

④ 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度

本教育プログラムの詳細について Web サイトや大学案内等に掲載して、在学生・入学希望者等へ周知する予定である。

また、「授業評価アンケート」等における理解度・満足度の結果を踏まえて、入学オリエンテーションでのアナウンスや関連科目での科目案内資料配布などを行い、プログラムの履修を推奨する予定である。

⑤ 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

本教育プログラムの開設年度は令和4年度である（令和4年度入学生から）。そのため令和5年度以降は、履修者数の合計および履修率は増加すると見込まれる。

なお、本教育プログラムの詳細については Web サイトや大学案内等に掲載して学生へ周知するとともに、関連科目等でのアナウンスを行う予定である。これにより履修者数・履修率の向上に向けた取り組みを行う。

【学外からの視点】

① 教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価

令和4年度時点で本教育プログラムの修了者で卒業した学生はいない。将来的には進路、活躍状況、企業等の評価を把握し、本教育プログラムの改善の参考とする予定である。

② 産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見

令和4年度時点で本教育プログラムの修了者で卒業した学生はいない。将来的には本教育プログラム内容・手法等に対する企業等からの意見を把握し、教育プログラムの改善の参考とする予定である。

【その他】

① 数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること

本教育プログラムを構成する科目である「データサイエンス入門」の受講者に対して、データサイエンスに関するイメージ調査を行い、その結果を踏まえ「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解してもらえるような講義内容を検討した。

また、「授業評価アンケート」の結果を踏まえ、学修成果に関する結果を自己点検および評価・改善に繋げ、「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解してもらえるような教育プログラムを検討した。

受講前・1回目・受講後のイメージ調査結果は、

「面白い・やや面白い：受講前 32.5%→1回目 64.8%→受講後 79.5%」

「好き・やや好き：受講前 15.2%→1回目 43.9%→受講後 66.7%」

「必要・やや必要：受講前 69.1%→1回目 92.2%→受講後 97.5%」

となり、「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解してもらえる内容になっていることを確認した。

② 内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること

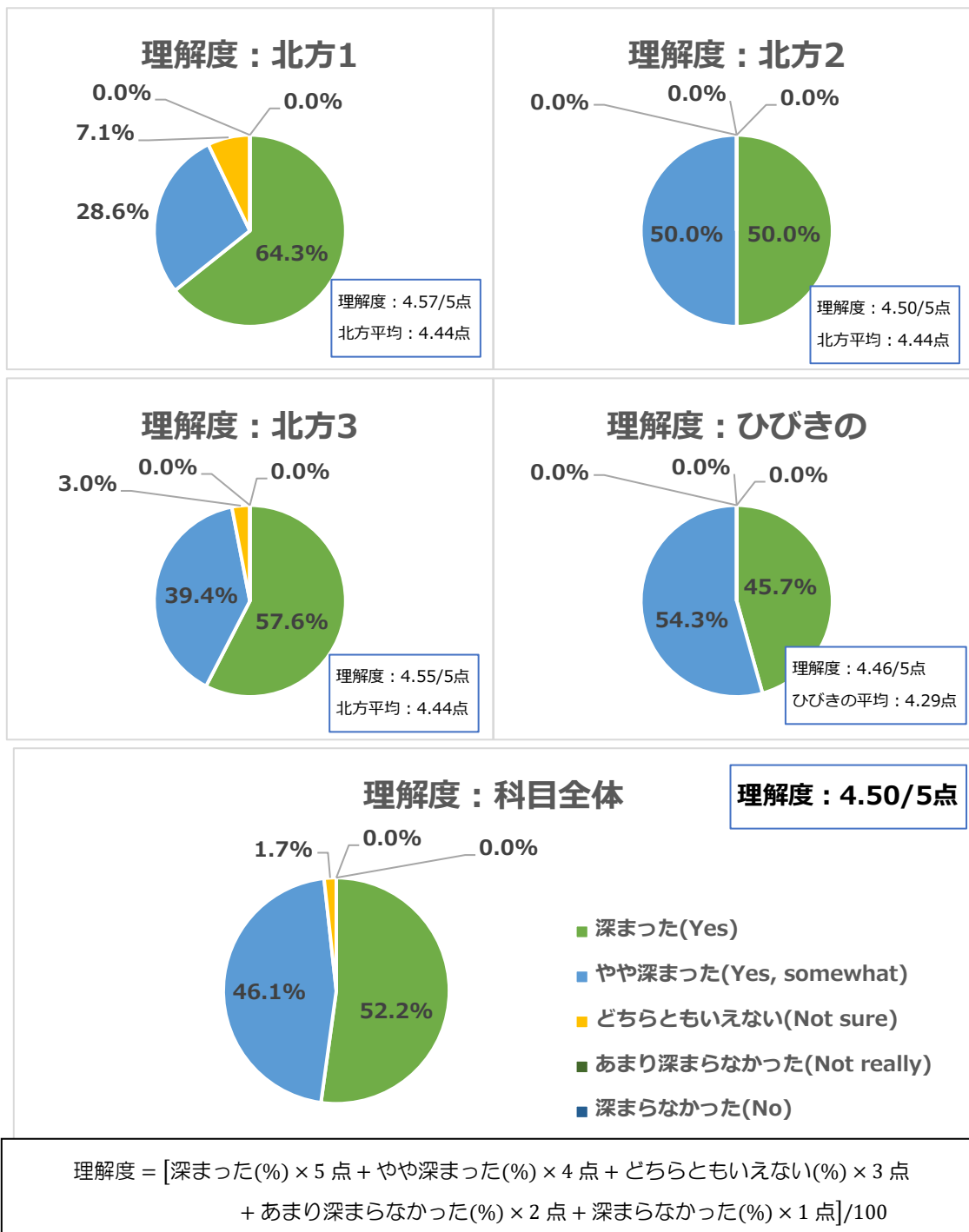
「授業評価アンケート」により、学生の理解度を把握し、学修成果に関する結果を自己点検および評価・改善に繋げた。

また、アンケート結果を授業担当教員にフィードバックすることにより、内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業となるように、教員自らによる自己点検および評価・改善も行なった。

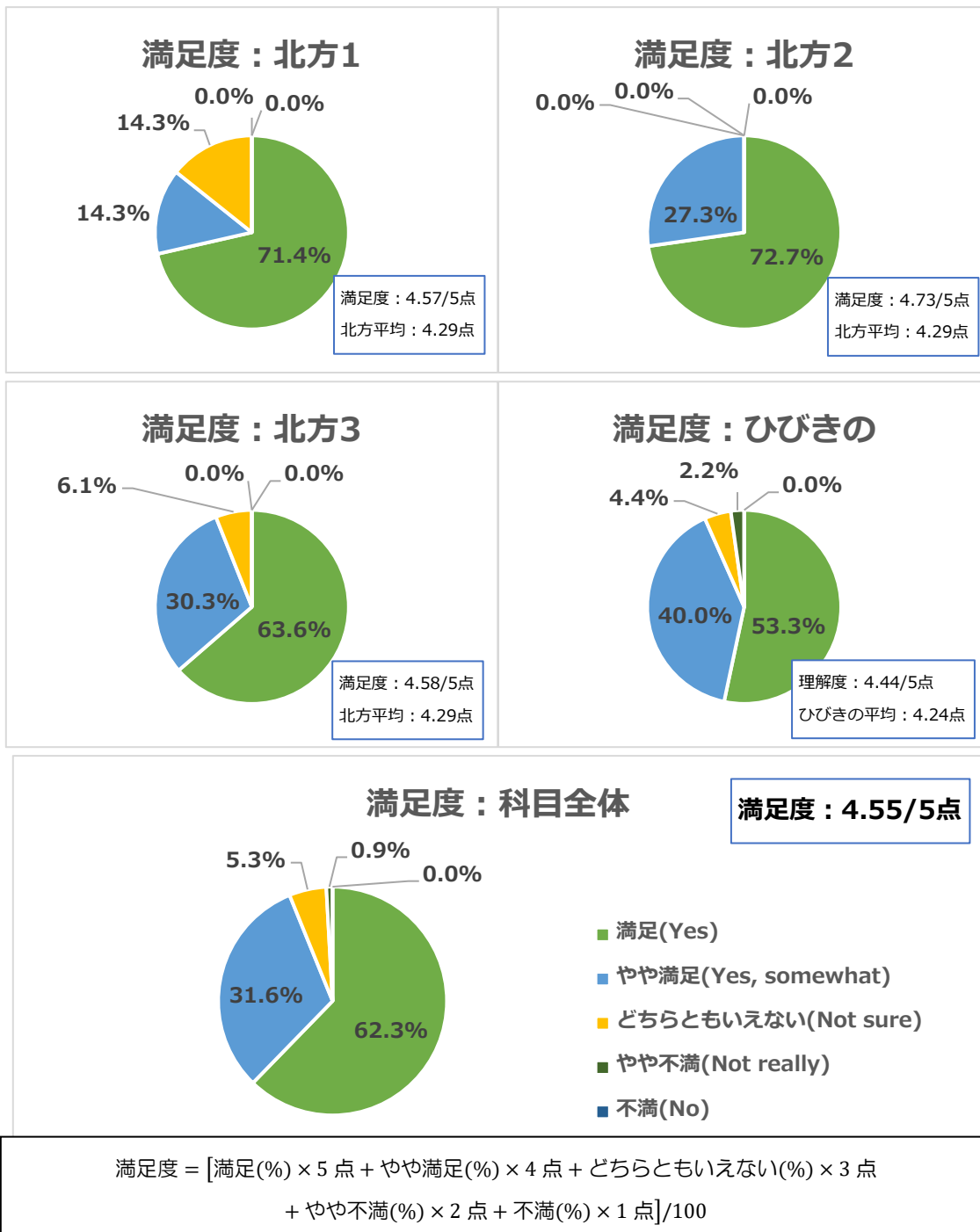
別紙：2022年度「データサイエンス入門」授業評価アンケート結果（理解度，満足度）

北方キャンパス（外国語学部，経済学部，文学部，法学部，地域創生学群）3クラス，ひびきのキャンパス（国際環境工学部）1クラス，および科目全体の結果を示す。北方平均・ひびきの平均と比較すると，理解度・満足度ともに高評価であることが確認できる。また，クラスやキャンパスによる理解度・満足度に大きな差はないことも確認できる。

【理解度の結果】



【満足度の結果】



【学生からのコメント】

- ・ 授業は難しいのではないかと考えていましたが、分かりやすい資料と説明で、今の社会を生き抜くために必要なことを学びました。
- ・ これからの時代、データ分析は大切になっていくと思うので、とても意味のある面白い授業でした。
- ・ 授業を受講して良かったです。ありがとうございました。
- ・ 社会の幅が広がったように感じた。